

おおっと！！おう吐物！！

（感染性胃腸炎予防のポイント）

- ・ノロウイルスは、わずか10～100個程のウイルスで感染します
- ・感染者のおう吐物には1gに億単位のウイルスが含まれると言われています

●ポイント1 一人ひとりが手洗いを十分に行う。

感染予防の基本は手洗いです。汚れが残りやすいところ(*)を念入りに、日頃から丁寧に手を洗うよう心がけましょう。

*手のしわ、指の間、親指の周り、指先、手首

消毒殺菌液やエタノール、石けんなどを使ってもウイルスは死滅しませんが、手の汚れをしっかりと洗い流すことで、ウイルスが手指からはがれやすくなる効果が期待できます。



●ポイント2 おう吐物やふん便を適切に片付ける。

必要物品：エプロン、マスク、手袋(2組)、ゴミ袋(2枚)、足カバー、ペーパータオル、バケツ、0.1%塩素系漂白剤

<汚物処理の方法>

1. 汚染区域を確認し、不用意に汚物に触れないように注意する

床やトイレに排泄されたおう吐物やふん便を見つけた場合、そのまま放置せず、すぐに片付けるようにします。

作業中は窓を開け、換気を十分に行いましょう。また、汚物に触れると二次感染のおそれがあるので、**周囲を使用禁止とし、片付けに従事する人以外は不用意に触れないようにします**。もし触れてしまったら十分手洗いをします。

2. 手袋、マスク、エプロン、足カバーなどの予防衣を着用する。

片付けに従事する人は、おう吐物等を素手で触らず、必ず**予防衣**を着用します。また、おう吐物等のウイルスが舞い上がり、吸い込むことで二次感染するおそれもありますので、必ず**マスクも着用**します。汚物等を廃棄するため、ゴミ袋を二重にして準備します。



3. 汚物全体をペーパータオルで覆い、外側からかき集めるようにふき取り、ゴミ袋に入れる。

ふき取り動作中に、膝や肘、衣類の裾などの清潔部分が汚物に触れないように注意しましょう。

4. 汚物を取り除いた汚染部を再度ペーパータオルで覆い、0.1%塩素系漂白剤を散布し、10分程度放置する。

消毒放置中のペーパータオル上を足踏みし、足カバーの消毒をしましょう。



5. 10分後、ペーパータオルでふき取り、ゴミ袋に入れる。

6. 汚物は厳重に封をして捨てる。

汚染面が内側になるように、1枚目の手袋と足カバーを脱いで捨て、塩素系漂白剤を加えて消毒し、外にもれないように厳重に封をします。残りの予防衣、2枚目の手袋も同様に汚染面をくるむように脱ぎ、外側のゴミ袋に入れ封をして捨てます。汚物を周囲に飛散させないことが大切です。汚物で汚れた衣類、汚物を片付けた雑巾や用具などを不用意に持ち歩くと、周囲を汚染してしまうこともあるので注意が必要です。

* 感染した者の排泄物には、症状がなくなってからも長いと2週間～1ヶ月程度ウイルスが含まれているため要注意



7. 汚物に触れたものは消毒する(「85℃以上で1分以上」の加熱処理や塩素系漂白剤が有効)。

汚物で汚れた衣類(下着、シーツなど)は、ティッシュペーパーで汚物を取り除き、塩素系漂白剤に30分間浸して消毒し、一般の衣類とは別に洗濯します(素材によっては色落ちや変質する可能性があるため要注意)。汚物を片付けた使い捨て以外の雑巾、用具(手袋など)は塩素系漂白剤に30分間浸して消毒します。また、洗にくい布団などはよく乾燥させた後、汚れた部分にスチームアイロンの高温の蒸気をあてるとよいでしょう。

8. 終わったら十分な手洗いとうがいをする。

●ポイント3 施設(手すり、トイレ、おもちゃ等)を消毒する。

手すり、トイレの便座、ドアノブ、水道の蛇口、水洗レバー、車椅子の取っ手、ベッド回りなど直接接触する部分を塩素系漂白剤で拭き取ります。

保育園では子供が使い回しのおもちゃや三輪車等も同様に消毒する必要があります。



塩素系漂白剤の濃度

汚物の片付け、施設の消毒には0.1%(1,000ppm)濃度、食器やおもちゃのように人が口にせる物の消毒には0.02%(200ppm)濃度で使用します。市販の塩素系漂白剤(ハイター、ピューラックスなど5~6%濃度のもの)を下表の割合で希釈して作ります。作り置きはしない方がいいですが、保管する場合は常温・遮光で保管してください。

※ 注意: 塩素系漂白剤は腐食性があるため、鉄などの金属は錆びることがあるので、金属やおもちゃを消毒した後は10分程度置いて水拭きしてください。

●汚物の片付け、施設の消毒(0.1%、1000ppm)

	原液濃度 A%	希釈倍率 (A×10)倍	水Bmlに対する原液の量 (B÷希釈倍率)ml
例: 原液5%で1L作成	5%	50倍	1000÷50=20ml
(商品名)	___%	___倍	___Lの水に___ml(___杯)

●食器、おもちゃ等の消毒(0.02%、200ppm)

	原液濃度 A%	希釈倍率 (A×50)倍	水Bmlに対する原液の量 (B÷希釈倍率)ml
例: 原液5%で1L作成	5%	250倍	1000÷250=4ml
(商品名)	___%	___倍	___Lの水に___ml(___杯)



お問い合わせ 庄内保健所 保健企画課 感染症対策担当 TEL:0235(66)4920